

と しょ かん 図書館だより

第2号 2024.6.12
ももだにこうこう としょかん
桃谷高校 図書館



みんな一度は読んだことある？ なつかしの絵本コーナー

ここでは図書館にある、みなさんが一度は読んだことがあるかもしれない絵本を紹介しします。
小さいころに読んだ絵本も大きくなった今読むと、また違った気づきがあるかも！

『ミッケ！』

写眞/ウォルター・ウィック 文/ジーン・マルソーロ 訳/糸井重童

たくさんのおもちゃや模型などの中から、お題にあるアイテムを探していく謎解き絵本『ミッケ！』。小さいころ、夢中になって探した人もいるのではないのでしょうか？
子どもも大人も楽しめる絵本です。



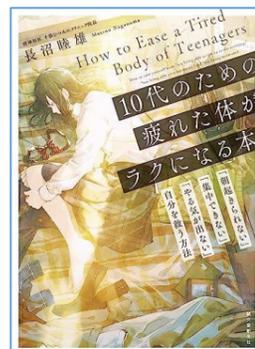
新年度が始まり2か月。やっと新しい環境に慣れてきたかな…とホッとすると、まだまだ勉強にクラブに頑張るぞ！とはりきっている人、ちょっとひと休みしたいなど感じている人、、、みなさんそれぞれだと思いますが、はじめするこの季節は少しずつ疲れがでてくる時期です。そこで、今回の特集は、『心と体をいたわる本』特集です。疲れや不安など、自分で考えても解決しないときは、無理せずのんびり読書をしてはいかがですか？本の中に新しい発見があるかもしれませんよ。



10代のための疲れた体がラクになる本

ながめま むつお ちよ
長沼 睦雄：著

副題は、「朝起きられない」「集中できない」「やる気が出ない」
自分を救う方法。このような悩みをかかえる人に、健康と笑顔を取り戻してもらうための本です。理由のわからないしんどさから脱け出し、もっとラクに楽しく生きられるように、この本のなかからヒントを見つけ出してみませんか？同じシリーズで、『10代のための疲れた心がラクになる本』も図書館にありますよ！



友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える

かんの ひとし ちよ
菅野 仁：著

～「自分というものをすべて受け入れてくれる友だち」というのは幻想～
誰もが一度は『人間関係』で悩んだことがあるのではないのでしょうか？
この本は人間関係で初めてつまづきを感じる多感な年頃に向けて書かれており、複雑な人間関係の中で必要以上に傷つかず、しなやかに生きられるようになるための本です。みんなと仲良くしなければならぬ！でも、難しい!!と悩んでいる人に、ぜひ読んでみてほしい1冊です。



「織細さん」の本

たけだ ゆき ちよ
武田 友紀：著

「人と長時間一緒にいると、疲れてしまう」
「大きな音や強い光、ちょっとした匂いも気になってしまう」
「ささいなことにもすぐ動揺してしまう」
もしも、このどれかにあてはまる人は「織細さん」かもしれません。
人よりも繊細な感性でたくさんの物事を感じる織細さん。この本は、織細さんが生まれ持った力を活かして、毎日のストレスを少しラクにし、織細さんが幸せに生きるための技術を教えてください。



きっと明日はいい日になる

たぐち ひさと ちよ
田口 久人：著

～起きたことは変えられない。
できることは、起きたことを自分でどのように捉えるのか。
ほんの少しだけ見方を変えることで、心が楽になることがあります。～
人生、家族、仕事などをテーマにした「前向きになる考え方」を、Instagramを通じて発信してきた著者。1～2ページにまとめられた温かい言葉の中に、あなたの心に響くものが必ず1つはあるはずですよ。
気軽に手にとってみてください。

